

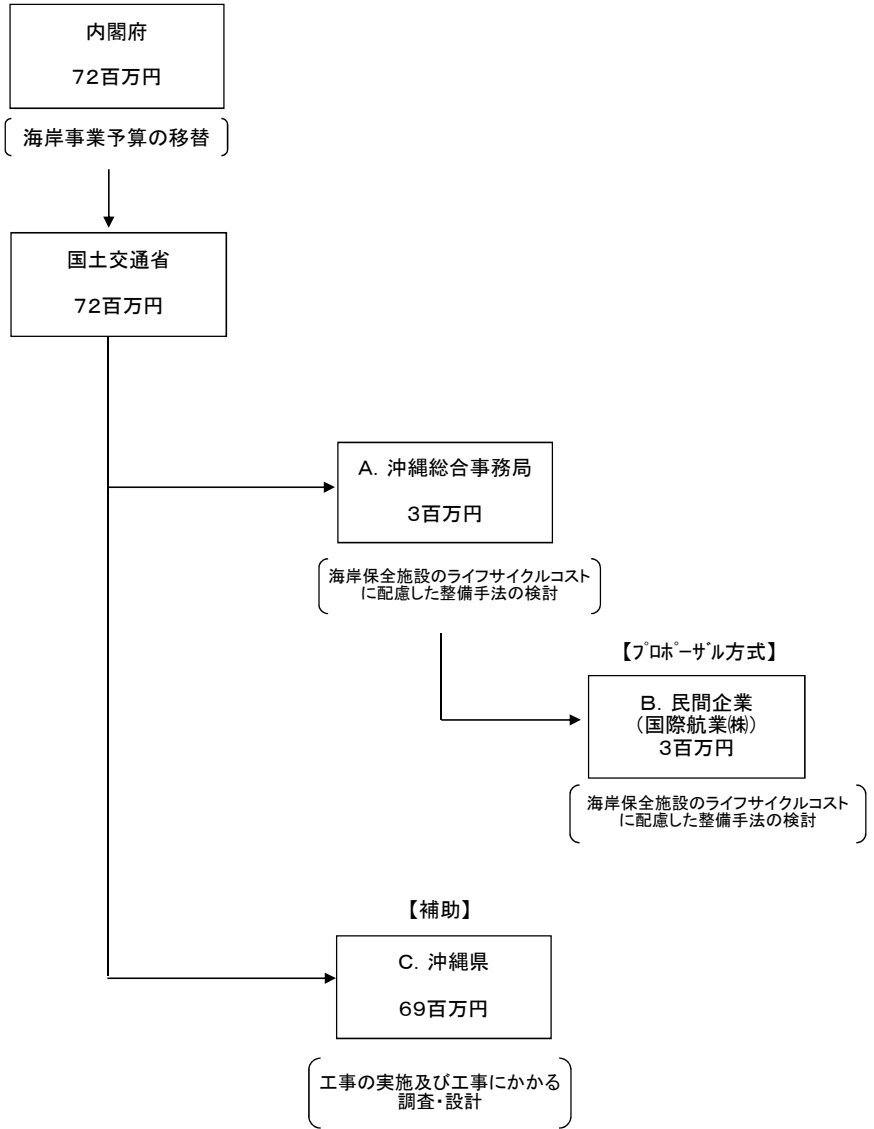
平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	(建設海岸) 海岸事業調査費		担当部局庁	沖縄振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定) 年度	事業開始年度: 昭和47年度		担当課室	参事官(振興第一担当)		朝比奈 志浩		
会計区分	一般会計		施策名	9. 沖縄政策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法		関係する計画、通知等	沖縄振興計画(平成14年7月 内閣総理大臣決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄振興計画に基づき、高潮や津波、波浪等による自然災害や海岸侵食から県民の生命、財産を守るため、景観や生態系など自然環境に配慮した海岸保全に努めることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	津波、高潮、波浪、海岸侵食による災害から背後の人命や財産の防護、国土保全に資することを目的に、被災のメカニズムや特性等を把握するため、現地調査等を実施し、その結果を基に対策工事の計画を立案するとともに、この計画に基づき、堤防、護岸、人工リーフ等の整備を行う。 国費率・補助率 事業調査: 国10/10、補助事業: 国9/10							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位: 百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	738	741	3	3	3	
		繰越し等		54				
		計	△ 81	11	70			
	執行額	657	806	73	3	3		
	執行率 (%)	650	803	72				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	津波・高潮等による災害から一定水準以上の安全性が確保されていない面積の削減 (海岸整備率の向上)		成果実績	%	57.4	58.3	59.0	59.5
			達成度	%	96.5	98.0	99.2	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	補助事業実施箇所数		活動実績 (当初見込み)	箇所数	3	4	2 (2)	— ()
単位当たりコスト	36 (百万円/箇所)		算出根拠	平成22年度執行額(72百万円)/平成22年度補助事業実施箇所数(2箇所)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	海岸事業調査費	3	3					
	計	3	3					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>成果実績は着実に向上しており、成果目標の9割以上を達成している。</p> <p>沖縄県では、近年の被災や海岸背後の防護人口等を踏まえ海岸事業を実施しており、今後も引き続き効果的に整備が行われているか確認していく必要がある。</p>		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p>		
現状通り	<p>事業実施省庁と連携し、事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画を検討すべき。</p>		
	<p style="text-align: center;">上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>		
<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。</p>			
<p style="text-align: center;">補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p>			
Empty space for supplementary notes			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



A. 沖縄総合事務局			E.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
事業調査費	海岸保全施設のライフサイクルコストに配慮した整備手法の検討	3			
計		3	計		0
B. 国際航業株			F.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
業務	海岸保全施設のライフサイクルコストに配慮した整備手法の検討	3			
計		3	計		0
C. 沖縄県			G.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
補助事業費	工事の実施及び工事に係る調査・設計	69			
計		69	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際航業㈱	海岸保全施設のライフサイクルコストに配慮した整備手法の検討	3	1 (3)	98%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※上記()書きは、プロポーザル方式での技術提案者数